

二〇二四年度

入学試験（一次B）問題

国語

- ・答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- ・ぬき出し問題や記述問題では、句読点や記号も一字と数えること。

横須賀学院中学校

【一】 次の——部について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直

しなさい。

- 1 神奈川県に大雨ケイホウが発令された。
- 2 その日からゲキテキに運命が変わった。
- 3 センデン用のパンフレットを配布する。
- 4 多くの人が集まって初日の出をオガム。
- 5 絵巻物にかかれた鎌倉時代の人々の姿。
- 6 母は若いころ専門学校で洋裁を学んだ。
- 7 幕府の江戸城が明治元年、皇居となった。
- 8 私はおそろしさに身の縮むおそいであつた。

【二】 次の問いに答えなさい。

問一 次の1～4の（ ）にあてはまるものを、後の□の

中からそれぞれ選び、漢字一字に直しなさい。その際、1と2は「対義語（反対や対の意味の語）」に、3と4は「類義語（意味のよく似た語）」になるようにしなさい。ただし□の中のせんたくしは一度だけしか使うことができません。

【対義語】 1 生存↕死（ ）

【対義語】 2 定例↕（ ）時

【類義語】 3 出生Ⅱ（ ）生

【類義語】 4 苦言Ⅱ（ ）告

たん・きん・りん・ちゅう・てい・ほう・せん・しゅん

問二

次の1～4の熟語の二つの漢字は、その意味上、どのような関係がありますか。後の【選択肢】ア～エの中からふさわしいものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- 1 勤務
- 2 公私
- 3 養蚕
- 4 絹糸

【選択肢】

ア、反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。(例：大

小)

イ、同じような意味の字を組み合わせたもの。(例：絵画)

ウ、上の字が下の字を修飾(くわしく説明)しているもの。

(例：北風)

エ、下の字から上の字に返って読むと意味がよくわかるもの。

(例：登山)

問三

次の( )にあてはまる言葉を指定の条件に従って入れ、左に書かれた意味になる慣用句や四字熟語を完成させなさい。

1 二階から( ) 漢字二字 ( )

∴思い通りにいかず、じれったいこと。

2 ( ) 漢字一字 ( ) のない所に煙は立たぬ。

∴まったく事実のないところには、うわさは立たない。

3 ( ) ひらがな三字 ( ) のほり

∴(物価や成績・温度などが)みるみるうちにぐんぐん上がること。

4 言語道( ) 漢字一字 ( )

∴ことばも出ないほどひどいこと。

【三】 次の【A】【B】は、『はじめて読む科学者の伝記 牧野富太郎<sup>\*1</sup>』

【日本植物学の父】』の中の文章です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

【A】

「牧野くん、とつぜんだが、これからは、きみに大学の本や標本を見ることをえんりよしてもらいたい」

「えっ……。先生、それはいったいどういうことでしょうか」

富太郎はあまりのことに、自分の<sup>1</sup>（ ）をうたがいました。教授は<sup>2</sup>淡々と続けます。

「きみが近ごろ自費で出しているという、あの『日本植物志<sup>3</sup>図篇』という本だがね。あれはかなり、この大学の標本<sup>2</sup>や本を使ってできたものだろう。じつはこの教室でも前々から、同じような本を出そうと考えていたものでね。きみの方では、本の出版もえんりよしてもらいたいのだ」

「あれは、自分のためではなく、日本の植物学のためにやっているのです。この教室の標本や文献<sup>4</sup>なしに、わたしのような者は何もすることができません。どうかお願いします。わたしの志<sup>5</sup>をとげさせてください」

「きみがきみのやり方を変えず、大学に協力しないのであれば、

大学への出入りを禁止することもやむをえないね。大学には、きみにはわからない秩序<sup>6</sup>というものがあるんだ」

あまりのことに、富太郎は言葉を失いました。六年前、心よく出入りをゆるしてくれた矢田部教授<sup>3</sup>から、こんな仕打ちを受けるとは、思いもよらないことでした。なつとくできない富太郎はその夜、教授の家をたずね、もう一度心からの願いを伝えました。

「日本の植物学は、まだ世界にはほど遠いのです。先生のような大先輩<sup>4</sup>がわたしたちを伸ばしてくださいださることが、植物学の将来につながるのではないのでしょうか。わたしのためではなく、学会のためにお願ひいたします」

しかし、教授の気持ちは変わりませんでした。

【B】

富太郎が一生をかけて集めた標本は四〇万枚ともいわれ、現在は東京都立大学の標本館に、大切に保管されています。

富太郎がお金にこまって標本を売ろうとしたときに「この標本が

失われることは、国家の損失」と新聞に書かれ、富太郎はつねづね「本と標本と心中する」と言っていました。

標本は、なぜそんなに大切なのでしょう。

植物に学名をつけて発表するときに、その植物の持ちようをよく表した標本がよいこととして必要になります。学名のよいことなる標本はただ一つとされ、永久に保存することが決められています。また、同じ植物でも季節や生えている場所によってちがいがあり、それをくらべるためにも標本が欠かせません。

標本は乾燥してはいますが、必要な部分をお湯でやわらかくすると、解剖してくわしく調べることができます。状態がよければDNAを取り出すこともできます。

標本の中には、絶滅してしまったものもあります。今、姿を見ることができない植物でも、見て確かめることができるタイムカプセルのような働きもあります。

\*1 牧野富太郎：一八六二年～一九五七年。植物学者。多数の新種の発見と命名を行い、日本植物学の父と呼ばれた。

\*2 DNA：デオキシリボ核酸。遺伝子を構成している二重らせん構造を持つ物質。

問一 — 1 「自分の（ ）をうたがいました」の（ ）に適

切な漢字一字を入れて、「信じられない」という意味の慣用語を作りなさい。

問二 — 2 「標本」について記したもので、本文の内容と照らし

合わせたときに、ふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、植物に学名をつけて発表する際に、その植物の特徴をよく表した証拠として必要となるものである。

イ、同じ植物であっても、季節や生えている場所によって違いがあるので、それを比較するために不可欠なものである。

ウ、標本は乾燥しているが、必要な部分をお湯でやわらかくすると、解剖してくわしく調べることができる。

エ、標本の中には絶滅してしまった植物もあるが、DNAを取り出すことで、それを現代によみがえらせることができる。

問三

——3 「こんな仕打ち」について、次の問いに答えなさい。

(1) 富太郎が教授から受けた「仕打ち」とはどのようなことですか。次の空らんAにあてはまるように、文章中から十二字でぬき出しなさい。

富太郎が教授に（ A 十二字 ）と言われたこと。

(2) 教授が富太郎に具体的にやめてもらいたいと要求したことを、次の空らんB・Cにあてはまるように、文章中から十二字と四字で二つぬき出しなさい。

（ B 十二字 ）をやめてもらいたい。  
（ C 四字 ）をやめてもらいたい。

#### 四 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

吉野源三郎よしのげんざぶろうという名前をご存知でしょうか。戦後、雑誌編集者・評論家として活躍かつやくし、平和運動にも力を尽くした人ですが、その吉野が一九三七年に少年少女向けに『君たちはどう生きるか』という本を発表しています。この本は当時から、そしていまに至るまでたいへんよく読まれており、手にされた方も多いのではないのでしょうか。

これはコペル君というあだ名の中学生の物語です。この本のなかで作者がとくに問題にしたのは、自分を中心としてものごとを考えたり、判断したりする自己中心的なものの見方です。わたしたちはふだん、**A** お肉は好物で毎日でも食べたいが、野菜は口にしないとか、いつも楽しく話しかけてくれるあのクラスメートは好きだが、わたしのやることにいつも文句を言ってくるあの子とはもう顔をあわせたくないし、口もききたくないとか、自分を中心してすべてのことを見ています。地理にしても、わたしたちは自分の家を中心\*1に、身近な周りの家々、住んでいる町や市などを同心円的に配置し、学校などの自分にとって必要な場所を結びつけた地図を頭のなかに入れていきます。

この小説に登場するコペル君の叔父おじさんは、コペル君があると

きデパートの屋上から霧雨きりさめの降る町並み、道路の上を走る車や歩行者を眺めながら、世の中を大きな海に喩えれば、人間というのは「水の分子」かもしれない、と語ったことをたいへん大切なことだと考え、ノートにコペル君へのメッセージを書き記します。かいつまんで言うと、自分を中心にして、自分の目に映るものだけを見ていては、ものごとの本質が見えなくなってしまう、大きな真理はそういう人の目には決して映らない、というのがそのメッセージです。

コペル君の経験に即して言えば、大きな海から自分を（一つの水の分子として）見つめ直すと、自分のいままで見えていなかった面が見えてくるということでしょう。それができたコペル君に、叔父さんはその大切さを強調したかったのだと思います。自分の思っていることや考えていること、あるいは自分の存在そのものを自分の視点からだけではなく、**大きな視点から見る**ことがわたしたちにとって何より大切なのだというのは、作者である吉野自身の考えであつたとも言えます。

その「大きな視点から見る」というのは、具体的に言うと、どういうことを指すのでしょうか。おそらくそれは、単により多くのこ

とを知るということではないと思います。また、ただ詳しく知ればよいということでもないと思います。他の人の立場に立って考えるということでもありますし、人間全体のことを（場合によっては地球全体のことを）考えて、どういう未来を作っていたらよいかを考えることでもあると思われます。

**B** それは知識の問題でもありますが、それにとどまらず、自分の生き方そのものにも関わっています。よりよい生き方や、よりよい社会のあり方について深く考え、その実現をめざして努力するということも含めて、吉野は「君たちはどう生きるか」と問いかけたのだと思います。

この「どのように生きるか」という問いは、哲学にとっても非常に大きな問題の一つです。そしてむずかしい問題です。簡単に答には行きあたりません。

先ほど、自分を中心にしてものごとを見ていただけでは、その本質が見えなくなってしまうと言いましたが、**C**、自分を中心にしてものごとを見ること自体が悪いわけではありません。それは非常に大切なことです。動物の子であれ、人間の子であれ、赤ん坊は生まれてすぐに母親のお乳を求めます。生きようとする意欲に満ちています。この自分のなかからわきあがってくる意欲がわたしたちの成長を支えています。少し大きくなれば、子どもは言葉を覚えることにとっても大きな興味を示します。小学校に入学したときのこと

を覚えているでしょうか。子どもはそこで学ぶものに大きな関心を示し、次々に吸収し、自分の世界を広げていきます。やがてスポーツでも音楽でも、少しでもうまくなりたい、少しでも力をつけたいと考えるようになります。このよりよいものをめざす向上心がわたしたちを支えています。

わたしたちはわたしたちのなかにある生きる意欲に衝き動かされ、さまざまなことに取り組みます。さまざまなことにチャレンジし、自分の可能性を実現し、自分の世界を広げていきます。それは社会に出てからも変わりません。芸術の道に進んだ人は、自分の作品を通して、できるだけ多くの人に感動を与えたいと思うでしょう。農業に携わる人は、より品質の高いものを消費者に届けたいと努力しますし、会社に入って営業に携わる人はより多くの製品を販売して成績をあげたいと考えます。このようにして自分自身が、そして家族が豊かな生活を送れるようにがんばります。また自分の作品や仕事を通して社会に貢献したいと考えます。

このように日々努力することはとても尊いことです。**D** ここに一つの大きな落とし穴が待ちうけています。わたしたちの生きる意欲が、**6** に変わってしまう可能性があるのです。生きる上でさしあたって必要でないものでも、目の前にあればそれを手に入りたい、それだけでなく、できるだけ多くのものを手に入りたいと



思うようになっていきます。欲望の特徴は、いったんそのタイシヨウになつてゐるものを手に入れても、すぐにより多くのものを、より大きなものを追い求めようとする点にあります。欲望はいったん刺激されると、かぎりなく大きくなっていきます。わたしたちは欲望の連鎖のなかに簡単にはまり込んでしまふのです。

欲望の連鎖のなかにほまり込んでしまふと、頭のなかで欲望追求のことでいっぱいになつて、自分自身の中身が空っぽになつてしまふし、他の人を顧みる余裕もなくなつてしまふ。要するに欲望の奴隷になつてしまふのです。自分を（あるいは自分だけを）中心にしてもものごとを見ることの負の面がここに現れてきます。

それはわたし一人だけの問題ではありません。現代はグローバル化の時代です。欲望の追求が世界規模でなされています。なりふりかまわない利益追求で富を得る人とそうでない人のあいだに格差が生まれています。あるいは利益の獲得をめぐる対立するグループのあいだに争いが生まれたりしています。自分の利益を守るために、自分のグループ以外の人たちを非難したり、排斥したり、あるいは攻撃したりすることも多くなつてきます。そのような対立や争いの結果、世界のあちこちで貧困や飢餓、迫害などで苦しむ人が増えています。

いま世界ではそういつたことが大きな問題になつています。<sup>8</sup> わ

たしたちはここで立ちどまつて考えなければならぬと思ひます。

先ほど『君たちはどう生きるか』という本との関わりで、大きな視点から見るのが大切なのだということを言ひましたが、たとえば欲望に振りまわされてゐる自分を見つめ直すこともその一つだと言ひます。差別や偏見で苦しむ人々や、内戦などのために生きる術を失つたり、命を落したりした人々のことを考えることもとても大切なことです。それも大きな視点から見ることの一例になるでしょう。

（藤田正勝『はじめての哲学』より）

ただし一部改変があります）

\*1 同心円：中心が同じで、半径がちがう二つ以上の円。

\*2 哲学：人生や世界、ものごとの根本となる原理を、考えることを通して探究する学問。

\*3 グローバル化：世界的規模、地球規模になること。

問一

A) D) にあてはまる最もふさわしいものを、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい(同じ記号を二回使ってははいけません)。

ア、しかし イ、たとえば ウ、もちろん

エ、なぜなら オ、したがって カ、それも

問三

——2「そういう人」とはどういう人ですか。「くをする人」に続くかたちで文章中から十一字でぬき出しなさい。

問四

——3「大きな視点から見るとは、具体的にどういうことですか。次の中からふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

問二

——1「コペル君の叔父さんはくたいへん大切なことだと考  
え」とありますが、叔父さんは、コペル君の語ったこと  
のような点を大切なことであると考えたのですか。次の中  
から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、世の中を大きな海にたとえれば、自分などは小さな水の

分子にすぎないと自信をなくしている点。

イ、世の中を大きな海に、自分を水の分子とたとえるという

表現が、詩的で文学的にもすぐれている点。

ウ、世の中を大きな海に、自分を水の分子にたとえたこと

が、科学的に正確な上に謙虚さを備えている点。

エ、世の中という視点から自分を見つめ直すことで、今まで

とは異なるものの見方をすることができた点。

ア、人間や地球全体のことを考え、あるべき未来の姿につ  
て考えてみることを。

イ、ニュースや書物からはば広い知識を得ることへのこだわ  
りを重視すること。

ウ、自分だけのせまい視点ではなく、他の人の立場から物事  
をとらえること。

エ、差別や偏見で苦しむ人々や、内戦などに苦しむ人々のこ  
とを考えること。

問五

——4「それは非常に大切なことです」と言っているのはなぜですか。次の中からふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、赤ん坊が母親のお乳を求めるように、自分が生きようとする意欲がまずなければ、動物の子も人間の子も生きることができないから。

イ、生きようとする意欲に満ちていることがさまざまな興味や関心呼び起こし、よりよいものを目指す向上心が成長の支えとなるから。

ウ、厳しい世の中を生きぬくためには自分の利益だけを追求することも必要であり、欲望の追求を最優先することは悪いことではないから。

エ、生きる意欲があるから人はそれぞれの道において自分の作品や仕事に取り組み、それを通して家族や社会のために貢献しようと努力するから。

問八

——7「タイシヨウ」と——部が同じ漢字を用いるものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、このおもちゃのタイシヨウ年齢は五歳以上だ。

イ、ふたこの姉妹はタイシヨウ的な性格だ。

ウ、タイシヨウ的な二つの図形。

エ、相手チームにタイシヨウした。

問九

——8「わたしたちはここで立ちどまって考えなければならぬ」とありますが、吉野源三郎がその実現を目指して努力するということも含めて「君たちはどう生きるか」と問いかけたのは、どのようなことですか。文章中から十五字以上二十字以内でぬき出しなさい。

問六

——5「消費者」の対義語を漢字三字で答えなさい。

問七

6 にあてはまる言葉を文章中から漢字二字でぬき出し

なさい。

問十 — 9 「『君たちはどう生きるか』という本との関わり」と

ありますが、次の文章Xは、『君たちはどう生きるか』の中で、叔父さんがコペル君にあてて書いたメッセージの一部です。本文と文章Xについて述べたものとして正しいものを二つ選び、記号で答えなさい。

【文章X】

コペルニクス（\*十六世紀、ポーランドの天文学者）のように、自分たちの地球が広い宇宙の中の天体の一つとして、その中を動いていると考える（地動説）か、それとも、自分たちの地球が宇宙の中心にとっかかりとすわりこんでいると考える（天動説）か、この二つの考え方というものは、実は、天文学ばかりのことではない。世の中とか、人生とかを考えるとときには、やっぱり、ついてまわることだ。

（吉野源三郎『君たちはどう生きるか』より  
ただし一部改変があります）

ア、叔父さんは、コペル君の考え方が地動説的な立場から天動説的な立場に変わったと考えており、それは他者の視点から自己を中心としたものの見方に変わったことを意味し、とても大切なことであると述べている。

イ、他者を中心に物事を見る生き方は、いつも他人の目を気にしたり、他人の持ち物や境遇きょうぐうをうらやましく思ったりすることにながりに、結果として自分の欲望を追求することばかりに意識が向かい、欲望の奴隷となってしまうのである。

ウ、コペル君のように、自分たちの地球が広い宇宙の天体の一つであるというようなコペルニクスのもの見方がふだんの日常の中にあることに気づき、欲望に振りまわされている自分を見つめ直すことは大切なことである。

エ、対立や争い、貧困や飢餓、内戦などの絶えない世の中を生きぬくためには、赤ん坊のように生きる意欲に満ちていることが重要であり、自分の意志をしっかりと持って、自分が正しいという信念を疑わず前に進むことが重要である。

オ、叔父さんは、コペル君の考え方が天動説的な立場から地動説的な立場に変化したと考えており、それは自分の視点から他者を中心としたものの見方に変わったことを意味し、とても大切なことであると述べている。

五 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

朝美の夫である輝也は家で絵を描きながら主夫をしている。幼稚園に通う息子、拓海の送迎と弁当づくりもふだんは輝也の仕事だ。ところが、輝也の描く絵が評価されて、京都のギャラリーで開かれる展覧会に出展することになった。輝也はその準備と打ち合わせのために京都に行くことになり、朝美は初めて幼稚園の送迎と弁当づくりをすることになった。

拓海と一緒にファミレスで夕食をすませて帰宅したあと、私はキッチンに立ち、フライパンを片手に特訓に入った。「卵焼きの作り方」は、本でもネットでもたくさん見て頭に入れたはずなのに、どうしてもだかうまくいかない。ふっくらせずぺたんこだし、卵がフライパンにひっついてきれいに巻けない。おまけに、レシピによつて卵に入れるのは塩だったり砂糖だったり醤油だったり、あるいは片栗粉や牛乳と書いてあったりもして、うちの卵焼きはどのようなかわからない。でもそんなことを輝也に電話して聞くのも憚られた。

キッチン台の上に、崩れまくった卵焼きがどんどん並んでいく。

リビングでテレビを見ていた拓海がやってきて「うわー！」と声をあげ、無邪気にこう言った。

「これ、なんていうお料理？」

その言葉に私はがっくりと脱力し、無言で新しい卵をボウルに割る。

テレビからアニメの主題歌が流れてきた。拓海は歌いながらあやしいダンスを始め、ぴよんと飛び跳ねると「ぶーん」と飛行機になってリビングに戻った。

菜箸で卵を混ぜる。シヤカシヤカ、シヤカシヤカ。どれくらい混ぜればいい？ どれくらい焼けばうまくなる？ 視界いっぱい黄色がだんだんぼやけてきて、自分が泣いているのだと知って驚いた。

なんで、なんで。なんで卵焼きくらい満足に作れないのだろう。子どものころから一生懸命勉強して、大学生になったら一生懸命就職活動して、会社に入ったら一生懸命仕事して、ずっと優秀だ優秀だと言われてきたのに。

仕方ない、私はずっと、逃げてきた。大嫌いな家事と自信のない

育児を輝也に一切まかせて、仕事に逃げてきた。みんながなんでもなくできることができない\*<sub>2</sub>コンプレックスから逃げてきた。

仕事ならどれだけでもやれる。\*<sub>3</sub>クライアントの名前や顔は一度会ったら絶対に忘れないし、どんな大企業\*<sub>4</sub>の重役と会っても緊張しないで堂々と意見を言える。みんなをあつと驚かせる企画\*<sub>5</sub>を出すことも、大勢の人の前でプレゼンすることも、部下のミスのフォローも、私は誰\*<sub>6</sub>よりもうまくこなせる自信がある。

だけど、私にはママ友ひとりいない。拓海\*<sub>7</sub>の同級生のお母さんたちの輪がこわい。幼稚園の先生の名前すら間違える。りんごの皮を剥けば食\*<sub>8</sub>べるところがなくなってしまうし、ゴミは全部燃え\*<sub>9</sub>るとしか思えないし、洗濯ものを折り紙みたいに形よくたたむなんて難しい芸当、私にはできない。

唯一、家計を支えているという自負がこれまでではあった。でもそれももう、私を安心させてはくれない。輝也が\*<sub>10</sub>デート\*<sub>11</sub>リードでどれほどの利益を上げているのかは知らないけど、私が収入をなくしたとしてもきつと大丈夫\*<sub>12</sub>なのだ。輝也にとって、拓海にとって、私がこの家にいる意味ってなんなんだろう。

7 どうしよう、輝也の絵が売れるようになったら。どうしよう、家にいてくれなくなったら。絵なんか売れないで。誰にも認められ

ないで。ずっと私と拓海のそばにいて。

涙\*<sub>13</sub>がつつと流れ落ちた瞬間、スマホが鳴った。画面表示を見ると、輝也だった。

「お父さんだから、出て」

私は拓海にスマホを渡す。拓海ははしやぎながら電話に出た。

もしもし、おとーさん！ うん、うん、そうなの、ハンバーグ食べたよ。拓海の声をぼんやり聞きながら動かしていた箸が、次の言葉で止まった。

「すごいんだよ。おかあさん、お料理してるの。あのね、菜の花畑\*<sub>14</sub>みたいなの。すっごくきれいでおいしそう！」

はっと顔を上げる。菜の花畑？ 黄緑色の皿を使ったから、拓海にはそんなイメージが湧いた\*<sub>15</sub>のかもしれない。\*<sub>16</sub>ポロポロの卵の群れが、突然報\*<sub>17</sub>われてほほえんでいるように見える。

拓海は「おかあさん、おとうさんが代わってって」とスマホを差し出した。

「朝美？ すごいじゃん、何作ってるの」

輝也のやさしい声に、私はこらえきれず息を漏らした。拓海に聞かれないように奥の部屋に移り、小さな声でしゃくりあげながら伝える。

「卵焼き……お弁当の。ぜんぜんうまくできないよ。ちゃんと形にならないし、なんかべとべとしてるし」

「明日のために練習してるの？ 卵焼きじゃなくてもいいじゃん、炒り卵でもゆで卵でも」

<sup>9</sup>「ダメなの！ 卵焼きじゃなきゃ。去年、幼稚園でもらった拓海のバスデーカードに、好きな食べものは卵焼きって書いてあったでしょ、卵焼きがないと絶対がっかりするよ」

「しないでしよう、がっかりなんて」

「する！ するよ。ちゃんと本のとおりをやっているつもりなのに、なんでぜんぜん違うのができちゃうの？ 卵焼きも作れないこんなダメなお母さんじゃ、拓海がかわいそうだよ」

「朝美」

<sup>10</sup>輝也がピシヤリと私を制した。珍しく怒ったのかと、私は身<sup>11</sup>をすくめる。でも輝也は、穏やかに言った。

「どのフライパン使ってる？」

「え？ 壁<sup>かべ</sup>にかけてあった赤くて丸いの……」

「それ、古くてテフロンはがれちゃってるから卵がくっつくでしょ。場所がちよつと違うからわかんなかったと思うけど、卵焼き用の四角いのあるんだ。買い替<sup>か</sup>えたばかりだから使いやすいと

思う。シンクの下<sup>した</sup>の扉開けてみて。青い柄だよ」

言われるままキッチンに戻り、扉を開けたら、あった。小ぶりの、<sup>12</sup>長方形のフライパン。たしかに本にもこんなのが載<sup>の</sup>っていたけど、私はてつきり撮<sup>さつ</sup>影用のプロが使うものだと思っていた。

「最初によりく熱して。卵を落としたときにじゅって音がするくらいだよ。調味料は塩ひとつまみでOK。油は少量、直接じゃなくて、キッチンペーパーに含<sup>ふ</sup>ませて引いて。たぶん、ひっくり返すタイミングがちよつと早いんだと思う。待ってるから、ちよつとやってみ」

私はいったんスマホを食器棚<sup>しよっきだな</sup>の端<sup>はし</sup>に置き、輝也の指示をたどった。その四角いフライパンは軽くて扱<sup>あつか</sup>いやすく、信じられないくらいきれいな卵焼きが生まれた。角にうまく卵を押し当てると、形も整えやすい。百点とはいえないけどそこそこ合格だった。

「な、なんか、できたみたい」

「でしょ」

四角いフライパンは、卵焼きを皿に移してもまだすべすべで、小さいのこびりつきがない。

「なんて優秀なフライパン。丸いほうだと、ぜんぜんダメだったのに」

「いや、丸いのも優秀なんだよ。深くでどっしりしてて、すごく

使いやすいんだ。炒めものとか麻婆豆腐作るときなんか、それが一番。ちよつとパスタ茹でたりもできるしね。いくら新しくして小回り利いても、卵焼き器に中華なんて任せられない。合った道具があるんだ」

13 合った道具。そう言われて、なんとなく自分が慰められた気がした。奮闘してくれた大きな丸いフライパンを私はそつと愛でる。輝也と話せてよかった。ありがとうね、と言おうとしたら、先を越された。

「がんばったね。素敵なお母さんじゃないか、ちつともダメじゃないよ。朝美のそういうまじめで純粹なところ、好きだよ」

さつきぽっかり空いてしまった穴が、じわじわと埋まって満たされていく。輝也のその言葉が、私の居場所を作ってくれたように思えた。

私はゆつくりと言った。

14 「輝也の絵、たくさんの人に見てもらえるといいね」

ちよつとずつ、家事もできるようにがんばってみるね。そんな言葉も浮かんだけど、今日のところはとりあえず、胸にしまっておく

ことにした。まずは明日の朝、幼稚園でボーダー添島さんに会ったら、私から「おはようございます」と挨拶しよう。

気がつくときッチンに拓海が入り込んでいて、「これ食べていい？」と問いかけてきた。私の腰のあたりで、さらさらしたまるい頭のキューティクルが光る。できそこないの卵焼きを指さしているその小さな手は、菜の花にとまったモンシロチョウみたいだった。

（青山美智子『木曜日にはココアを』より  
ただし一部改変があります）

- \*1 レシピ：料理や菓子<sup>かし</sup>の作り方を書いたもの。
- \*2 コンプレックス：ここでは劣等感の意味。
- \*3 クライアント：仕事の依頼人、顧客、おとくいさま。
- \*4 デイトレード：一日のうちに売買を終えて利益を得ようとする株式売買の方法。
- \*5 テフロン：フッ素系の合成樹脂。熱に強い。フライパンの面にはりつけると、こげないようにする効果がある。
- \*6 ボーダー添島さん：同じ幼稚園に通う添島瑠々ちゃんのママ。ボーダーシャツ（横しま模様のTシャツ）を着ていたことからそう呼んでいる。
- \*7 キューティクル：三層構造からなる毛髪のもつとも外側を構成する物質。



問一 — 1 「卵がフライパンにひっついてきれいに巻けない」と

ありますが、その原因は何だと考えられますか。次の空らんにあてはまる語句を、文章中の表現を用いて、適切な書き言葉に整えて答えなさい。

フライパンが「」から。

問二 — 2 「そんなことを輝也に電話して聞くのも憚られた」と

ありますが、「そんなこと」とはどのようなことですか、文章中の言葉を用いて十字で答えなさい。

問三 — 3 「無邪気」の言葉の意味として最もふさわしいものを

次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、素直で悪気がないこと。

イ、人の気持ちを考えないこと。

ウ、幼くてかわいらしいこと。

エ、物分かりが悪いこと。

問四 — 4 「その言葉に私はがっくりと脱力し、無言で新しい卵

をボウルに割る」から読み取ることができ「朝美」の気持ちとして最もふさわしいものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、思うように卵焼きが焼けず、がっかりしている横で、こちらの気も知らずに陽気に遊んでいる拓海を見ていらだっている。

イ、自分の作った失敗作の卵焼きを見た拓海に、それを卵焼きだとわかってもらえず、落ち込み泣きたい気持ちになっっている。

ウ、崩れた卵焼きを見て「うわー！」と声を上げた拓海の失礼な言動に腹が立ち、こみあげる怒りを必死にこらえている。

エ、自分の崩れた卵焼きを見て、何だかわからなかった拓海を見返してやろうと無言のうちに集中力を高めようとしている。

問五 — 5 「シャカシャカ、シャカシャカ」のような表現技法を

何とといいますか。三字で答えなさい（ひらがなが混じってもかまいません）。

## 問六

——6「なんで、なんで。なんで卵焼きくらい満足に作れないのだろう」とありますが、このときの「朝美」の気持ちとしてふさわしくないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、卵焼き一つ満足に作れないでいるダメな自分の姿を夫の

輝也に知られたくないという気持ち。

イ、苦手な家事と自信のない育児を輝也に一切まかせて仕事

に逃げてきた自分に対する情けなさ。

ウ、みんながなんでもなくできることができないという劣等

感から仕事に逃げてきた後ろめたさ。

エ、仕事なら何でもできる自信があるのに料理だけはどうしても輝也に勝てないというくやしき。

## 問七

——7「どうしよう、輝也の絵が売れるようになったら。どうしよう、家にいてくれなくなったら。絵なんか売れないで。誰にも認められないで」とありますが、このとき「朝美」はなぜこのように思ったのですか。その理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、輝也の絵が世間で認められ、売れるようになったとしたら、輝也は展覧会や仕事などで家を離れることが多くな

り、自分の大嫌いな家事と自信のない育児を今度ばかりと自分に押しつけてくるだろうと不安になったから。

イ、今までは自分が家計を支えているという自負があったが、輝也がデイトレードで利益を上げ、さらに絵が売れるようになれば、輝也や拓海にとって自分がこの家にいる意味がなくなってしまうのではないかとこわくなったから。

ウ、自分は子どものころから一生懸命勉強して、今も会社で一生懸命仕事をして、ずっと優秀だと言われ続けてきたのに、輝也が画家として優秀であるということが認められたならば、自分の優秀さがかすんでしまうから。

エ、今までは自分が働いて家計を支えることで、売れない画家である輝也の心を引きとめておくことができているのに、輝也の絵が売れ始めたら彼は調子に乗ってしまい、自分から心が離れてしまうのではないかと思ったから。

問八 — 8 「ポロポロの卵の群れが、突然報われてほほえんでい

るように見える」とありますが、「朝美」にとって「ポロポロの卵の群れ」と見えていたものが、「拓海」にはどのようなように見えていましたか。文章中から五字以上十字以内でぬき出しなさい。

問九 — 9 「ダメなの！ 卵焼きじゃなきゃ。去年、幼稚園でも

らった拓海のバスデーカードに、好きな食べものは卵焼きって書いてあったでしょ、卵焼きがないと絶対がっかりするよ」とありますが、このような思いから卵焼きづくりにはげむ「朝美」の性格を「輝也」はどのようにとらえていますか。文章中から六字でぬき出しなさい。

問十 — 10 「輝也がピシヤリと私を制した」とありますが、「輝也」

が「朝美」を制したのはなぜですか。次の空らんにあてはまる言葉を文章中から十字以内でぬき出しなさい。

朝美が自分のことを【 十字以内 】と言ったから。

問十一 — 11 「身をすくめる」の言葉の意味として最もふさわし

いものを次の中から選び、記号で答えなさい。  
ア、体の力をゆるめる  
イ、緊張で体が動かなくなる  
ウ、恐怖心から体を後ろに引く  
エ、しみじみと心を感じる

問十二 — 12 「たしかに本にもこんなのが載っていたけど、私は

てつきり撮影用のプロが使うものだと思っていた」とありますが、「たしかに」は次のア～ケのどこにかかりますか。最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、本にも  
イ、こんなのが  
ウ、載っていたけど、私は  
エ、私に  
オ、たしかに  
カ、撮影用の  
キ、プロが  
ク、使うものだと  
ケ、思っていた。

問十三 — 13 「合った道具。そう言われて、なんとなく自分が慰

められた気がした」とありますが、それはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、道具にも向き不向きがあり、ある場面ではダメなもの

別の場面では優秀なこともあるという輝也の話聞き、

自分のことと重ねて安心したから。

イ、自分は今まで家事全般ぜんぱんについて不器用だと思っていた

が、料理も掃除そうじも洗濯も道具しだいで上手にこなせると  
いう自信を得ることができたから。

ウ、調理器具や料理のコツについてやさしく教えてくれた輝

也のことを心から頼たのもしく思い、輝也と結婚したことの  
幸せを改めてかみしめているから。

エ、卵焼きがうまくできなかった原因は道具にあったことが

判明し、道具の使いわけさえ習得すれば料理でも輝也に  
負けないと思い、満足したから。

問十四 — 14 「輝也の絵、たくさんの人に見てもらえるとい

ね」とありますが、——7のとくと比べて、このように「朝  
美」の気持ちが大きく変化したのはなぜですか、次の空らん  
にあてはまる言葉を文章中から十字でぬき出しなさい。

輝也が「——十字——」から。

問題は次のページに続きます。

六

近年は、手紙を書くことが減ったといわれています。メールやスマートフォンアプリでのメッセージのやりとりが普及する中、紙とペンを使って手紙を書くという文化は今後も必要だと思いませんか。百五十文字以内であなたの意見を述べなさい（句読点や記号も一字と数えること）。